

宿戸アワビ養殖場におけるナマコ養殖試験結果

ね ら い：	ナマコの栽培漁業を進めていくには、人工種苗量産技術開発とともに、放流技術の開発や種苗放流の効果を把握することが必要です。 そこで、環境は自然に近く、一般漁場と隔離できる宿戸アワビ養殖場にナマコ人工種苗を放流して、その成長や回収率等について調査しました。
成果の特徴：	平成19年6月に大型群(標準体長 52.0mm)と小型群(標準体長 31.5mm)を別の養殖池に放流しました。放流後、体長及び体重とも順調に成長しましたが、10月には大型群と小型群の体長に差がみられなくなり、その後の成長は同じ傾向を示しました。成長の面からでは、30mm サイズでも放流種苗として有効であることが示唆されました(図1)。 また、養殖1年後の回収率は大型群で67%、小型群で35%と2倍近い差があり(表1)、放流種苗の大きさと回収率に関係があることが示唆されました。 今後、放流密度や時期、底質などのデータを収集し、ナマコ人工種苗放流方法の開発に取り組んでいきます。
成果の活用	今後、漁業者がナマコ放流事業に取り組む場合、この試験結果を用いて放流効果を高められます。

[具体的データ]

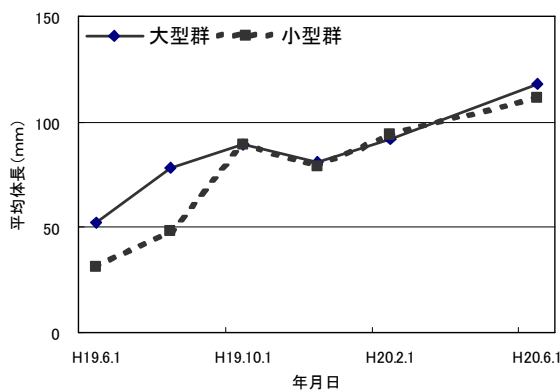
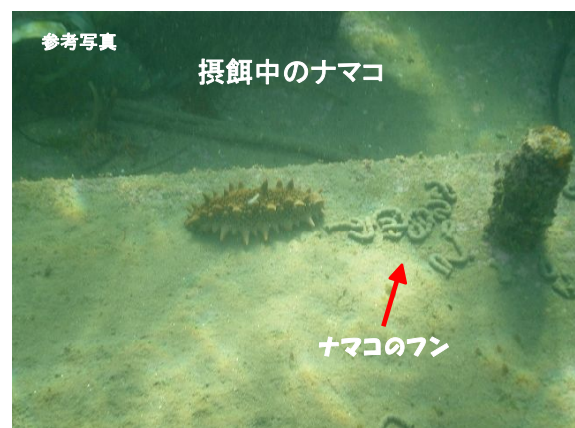


図1 ナマコの成長(標準体長)

表1 放流1年後のナマコの回収率

単位: 個

	大型群個数	小型群個数
収容時(H19.6.5)	3,000	6,800
回収時(H20.6.11)	2,001	2,350
回収率	67%	35%



担当者 連絡先	増養殖部 専門研究員 中野伸行 Tel0193-26-7917 FAX0193-26-7920 〒026-0001 岩手県釜石市大字平田第3地割75番3号 ホームページ http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/
------------	--